

学校だより

大阪市立玉川小学校

7月号

令和8年6月30日

学校では、6月下旬よりプール水泳が始まりました。1年生は初めて見るプールに驚きながらも水遊びを楽しむ様子が見られています。今年の梅雨は台風の影響もあり、雨の日も多く、また昨年度と比べて気温・湿度とも低い傾向にあります。日常は過ごしやすくよいのですが、プール水泳には少々肌寒く感じるため、気温・水温を確認しながら、安全に水慣れ・泳力を伸ばせるように取り組んでまいります。

さて、毎年本校でも水泳シーズンに入る前に、教職員が救急救命講習会を実施しています。今年度は、我々教職員だけでなく、6年生も命を守る授業として、玄関正面にある大阪病院にお招きいただき、救急蘇生法の訓練を実施していただきました。

救急車を要請後、到着までに平均7～8分の時間を要するそうです。心肺停止の状況で何も措置を行わない場合は1分ごとに蘇生率が10%減少してしまうため、救急隊が到着するまでに、救命措置を講じることが重要になってきます。そのような話も教えていただきながら、①意識の確認・呼吸の確認 ②近くの人に救急車・AEDの要請 ③心臓マッサージ（30回・近親者へは人工呼吸2回を1セット）④AEDの活用を人形相手に一人一人が正しいやり方ができているか、班ごとに進めることができました。講義後には一人一人に受講者証をいただくことができ、子どもたちもよい学習になったと振り返っていました。

大阪病院さんとは、これ以外にも大阪病院専門学生の本校での1日実習受け入れや、今年度10月にノーベル生理学・医学賞を受賞された大阪大学特別名誉教授の坂口志文先生の講演会に6年生を招待していただくなど、交流を取らせていただいています。

いよいよ、1学期終業式まで2週間あまりとなりました。よい締めくくりができるよう、学習面も生活面でもさらなる成長を遂げられるようにと期待しています。懇談会では、1学期をふりかえり成長した部分と今後の課題について共有できればと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

